

## 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題6

## 【大きな公共を担う活力ある地域社会づくり】

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）〈概ね10～20年間で念頭に設定〉
	多様な主体の協働により全ての地域において課題が共有され、解決に向けて取り組まれている状態
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	<p>【天王寺区における住宅の建て方】(平成20年 住宅・土地統計調査) 集合住宅の割合 平成10年:74.8%⇒平成20年:84.5%</p> <p>【天王寺区における単独世帯率】(平成22年 国勢調査) 平成7年:39.4%⇒平成22年:48.5%</p> <p>【天王寺区における高齢単身世帯率】(平成22年 国勢調査) 平成7年:7.5%⇒平成22年:10.3%</p> <p>【平成26年度区民モニター】※〈 〉は25年度区民モニター ・住んでいる地域で日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合 46.7%〈30.7%〉 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 40.3%〈22.4%〉 ・地域運営にさまざまな活動主体が参画し、会計をオープンにするなど、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合 25.6%〈28.3%〉 ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを知っている区民の割合 36.2%〈28.6%〉 ・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力を持った人材が活躍していると感じている区民の割合 36.7%〈9.2%〉</p> <p>【平成25年度地域へのアンケート】※〈 〉は24年度アンケート ・中間支援組織による支援を必要とする団体のうち、適切な中間支援組織による支援を受けることができる環境が整備されていると感じている団体の割合 77.6%〈62.0%〉</p>
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）〈めざすべき将来像と現状に差が生じる要因〉
住んでいる地域で日頃から話をする相手が増えたと感じている区民の割合など向上している指標は多いが、地域が一体となって運営されていると感じている区民の割合は低下しており、地域活動の自律的な運営支援が十分でないと考えられる。	
課題〈上記要因を解消するために必要なこと〉	
豊かなコミュニティを築き、より多くの地域住民が地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けて協働して活動し、活力ある地域社会をめざす地域住民の取組への積極的な支援。	

自己 評価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
	活力ある地域社会づくりに向け、区広報紙やホームページによる地域における各種人材や地域活動、地域団体の紹介、中間支援組織を活用した地域への各種支援により、地域住民の地域への関心を高めることや地域の自律的な運営、情報発信などについて、一定寄与することができたと認識している。しかしながら、様々な活動主体の連携・協働による活動の推進や地域公共人材(ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材)が活躍していると感じている区民の割合などは、平成29年度までの目標数値ではあるが、現状は乖離が大きい。地域ニーズを踏まえた取組みの見直しが必要であり、地域が課題として考えている内容の聞き取りを実施し、取り組みを進めていく必要がある。

めざす成果及び戦略 6-1 【豊かなコミュニティの実現】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態	戦略<中期的な取組の方向性> 身近な地域における「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」の大切さを伝えるとともに、人と人とが会いつなげる機会を促進する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合 平成29年度までに 50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体		—	
	身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合 59.7%		— A	A	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
				A: 順調 B: 順調でない		—
	戦略の進捗状況	a	a: 順調 b: 順調でない			

具体的取組6-1-1 【人と人とのつながりづくりの促進】★

25決算額 — 円 26予算額 — 円 27予算額 — 円

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	・区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、地域における見守り活動等の取組の紹介を通して、身近な地域でのつながりの大切さを伝える。 区広報紙 随時 ・区の財政的支援を受けて行われるイベント・活動について、その効果(地域住民同士のつながりの拡大)を測るためのアンケート調査等を実施するとともに、参加者や運営スタッフのつながりが広がるよう主催者等に働きかける。 アンケート実施 9地域	地域活動時に実施するアンケートで、地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 80%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成26年度 アンケート実施 84.3% 平成25年度 アンケート実施 83.6%

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			—
	戦略に対する取組の有効性	—	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	区広報紙での紹介: 9回 アンケート実施: 8地域 (1地域については、地域活動協議会としての活動を休止中のためアンケート未実施)		—
	業績目標の達成状況 地域活動時に実施するアンケートで、地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 90.7%	① (i)	改善策
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 6-2 【多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

中期評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体		
	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	84.9%	—	A	A	
	まちづくりに関する活動が、様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	25.4%	40.3%	B	A	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組6-2-1 【地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援】★

25決算額 | 14,240千円 | 26予算額 | 17,437千円 | 27予算額 | 16,913千円

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策

中期振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須

具体的取組6-2-2

【校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援】

25決算額 ー 円 26予算額 ー 円 27予算額 ー 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページなどで紹介する。</li> <li>区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載する。 情報や検索サイトの掲載 随時</li> <li>校区等地域を越えて、公共課題の解決に資する民間事業者の活動を地域に紹介する。</li> </ul>	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 3件 【撤退基準】 2件以下の場合は事業を再構築する
		前年度までの実績 平成25・26年度 区ホームページに区内のNPO法人を検索するページを掲載

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ー	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区等地域を超えたまちづくりに関する活動を区ホームページや印刷物により紹介</li> <li>区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載</li> </ul>		
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 3件	① (i)	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 6-3 【地域資源の循環】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>容易に地域資源情報を得ることができる仕組みがあり、様々な活動主体に活用されている状態</li> <li>地域や社会の課題の解決やニーズへの対応に向けた取組がビジネス手法により継続的に展開されている状態</li> <li>コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットが理解され、本市の事務事業が社会的ビジネス化している状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源に関する情報が容易に得られる仕組みを構築し、活用を促進する。</li> <li>コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを伝えるとともに、地域におけるビジネス化の取組を支援する。</li> <li>区で実施している事業で、既に社会的ビジネス化に取り組んでいる事業が、継続して展開できるようにする。</li> </ul>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる</li> <li>地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向けた住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 平成29年度までに 1件以上</li> <li>社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 平成29年度までに 1件以上</li> </ul>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体			
	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる(区ホームページに情報が得られるサイトを掲載)		—	A	A	—
	未測定(コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを理解したと感じた地域は62.5%である)		67.9%	B		
	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 5件		4件	A		
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない	A:順調 B:順調でない			
				今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	—	

具体的取組6-3-1 【地域資源が活用されやすい仕組みづくり】

		25決算額	— 円	26予算額	— 円	27予算額	— 円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)					
	地域や社会に存在する資源(人材、モノ、資金、地域情報など)に関する情報を掘り起こして精査し、ホームページで紹介するなど、情報が得られる仕組みを構築する。 ホームページでの紹介 随時	仕組みの構築 【撤退基準】 構築できなければ、取組みを再構築する。					
		前年度までの実績 平成27年度新規事業					

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	地域や社会に存在する資源に関する情報が得られる仕組みを構築、ホームページで紹介	—	
	業績目標の達成状況		
	取組実績どおり	① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組6-3-2

【地域資源の循環による継続的な地域活動の促進】★

		25決算額	—	円	26予算額	—	円	27予算額	—	円
計画	取組内容	地域活動協議会に対し、中間支援組織を活用し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリット、地域イベントでの自主財源確保の事例等に関する情報交換会を開催する。 情報交換会 1回								
	業績目標 (中間アウトカム)	情報交換会に参加した地域のうち、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを理解したと感じた地域の割合 60%以上 【撤退基準】 40%未満の場合は事業を再構築する。								
	前年度までの実績	平成26年度 情報交換会3回 ※上記業績目標は26年度より設定(26年度67.9%)								

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	—								
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)							

自己評価	取組実績	情報交換会の実施:1回								
	業績目標の達成状況	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須								
	情報交換会に参加した地域のうち、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを理解したと感じた地域の割合 62.5%	① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	—								
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)								

具体的取組6-3-3

【本市事務事業の社会的ビジネス化の推進】

		25決算額	—	円	26予算額	—	円	27予算額	—	円
計画	取組内容	既に社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施する。 検証件数 4件 新たに社会的ビジネス化の対象となる事務事業を実施する。 新規実施 1件 区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、天王寺区での社会的ビジネス化の具体例を紹介する。 具体例のホームページ掲載 随時								
	業績目標 (中間アウトカム)	事業実施 5件 【撤退基準】 2件以下の場合には事業内容を再構築する。								
	前年度までの実績	平成26年度 上汐公園清掃、東高津公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化 平成25年度 五条公園清掃、寺田町駅前駐輪啓発にかかる業務の社会的ビジネス化								

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	—								
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)							

自己評価	取組実績	社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施:4件 新たに社会的ビジネス化の対象となる事務事業を実施:1件(寺田町公園清掃) 天王寺区での社会的ビジネス化の具体例をホームページで紹介								
	業績目標の達成状況	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須								
	取組実績どおり	① (i)	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	—								
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)								

めざす成果及び戦略 6-4 【地域公共人材の充実と中間支援機能の活用】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体		—		
	ファシリテーション能力やコーディネート力を持った人材が活躍していると感じている区民の割合	21.9%	36.7%	B	A	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
	多様な活動主体が中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	92.3%	—	A		—	

具体的取組6-4-1 【地域公共人材の充実と活用の促進】

		25決算額	251千円	26予算額	782千円	27予算額	307千円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)					
		今後、同様の地域活動に協力したいと回答した参加者の割合 80%以上 【撤退基準】 60%未満の場合は事業を再構築する。					

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	—

自己評価	取組実績	課題				※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況	取組と同様の地域活動に協力したいと回答した参加者の割合 85.7%	① (i)	改善策			※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	—			

具体的取組6-4-2

【中間支援組織の活用】★

25決算額 ー 円 26予算額 14,565千 円 27予算額 14,132千 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	中間支援組織が、各地域活動協議会の状況を把握し、また要望等をふまえ、具体的活動を支援する。 地域活動協議会の具体的活動の支援 9地域	地域活動協議会活動に対して、中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 60%以上 【撤退基準】 40%未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成26年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※上記業績目標は26年度より設定(26年度80.8%) 平成25年度 地域活動協議会運営支援 9地域

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		ー
	戦略に対する取組の有効性	ー ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	地域活動協議会の具体的活動の支援:8地域 地域活動協議会の再開に向けた支援:1地域	ー
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 87.5%	① (i)
	①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	ー
	戦略に対する取組の有効性	○ ○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)